

財団法人 8020 推進財団
平成 18 年度 歯科保健活動助成事業報告書

下保環発第 2062 - 2 号
平成 19 年 3 月 30 日

財団法人 8020 推進財団
理事長 大久保 満男 殿

住 所 〒370-2601
群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田 111-2
フリガナ シモニタマチ
申請団体名 下仁田町
代表者氏名 町長 岡田 常夫
担当者氏名 保健環境課 阪本 睦
電話：0274-82-5490
FAX：0274-70-3013

平成 18 年度 歯科保健活動助成事業報告書を提出いたします。

1. 事業名

健康しもにた 21 「8020」推進基盤整備事業

2. 申請者

下仁田町

3. 実施組織

下仁田町、富岡保健福祉事務所、富岡甘楽歯科医師会、
厚生労働省科学研究班、下仁田町健康づくり推進協議会、
下仁田町保健推進員協議会、下仁田町フロリデーショーン推
進会議、健康学習地区組織等

4. 事業の概要

①はじめに

下仁田町は、かつて群馬でむし歯予防の後進地といわれるほど、子ども達のむし歯の多い状態が続いておりました。そこで子ども達のむし歯を何とかしたいと熱い思いで、3歳児のむし歯罹患状況を改善するために、昭和63年度より富岡甘楽歯科医師会の指導のもとに、幼児歯科健診時にフッ化物歯面塗布を導入し、フッ化物を利用した「3歳児のむし歯半減運動」を開始しました。その結果乳幼児のむし歯罹患状況は大幅に改善し、県内でもトップクラスの良い歯の状態になりました。このことは保護者をはじめ、保健推進員、食生活改善推進員、歯科医

師、歯科衛生士、保健センター職員等「むし歯半減運動」に携わった多くの人々を勇気づけ、フッ化物を利用した科学的根拠に基づくむし歯予防の大切さを実体験させたものでした。

これを契機に、食べることは健康の源として「8020」をめざすために、保育園での集団フッ化物洗口、小中学生の家庭でのフッ化物洗口、40才、50才、70才、リハビリ通所者、福祉作業所通所者、国民健康保険加入者等を対象に歯科健診および口腔衛生指導、寝たきり者訪問口腔衛生指導等、子どもから高齢者まで、生涯にわたる歯科保健に取り組んできました。乳幼児のむし歯予防は大きな成果が上がりましたが、成人、高齢者の口腔内の状況は、むし歯罹患状況をはじめ歯周疾患等大きな課題があることがわかりました。

平成14年度には、「健康日本21」の地方計画である「健康しもにた21」を住民参画のもとに策定し、「健康しもにた7カ条」に歯の健康分野のスローガン「いつまでも自分の歯・8020を目指しましょう」を掲げ、下仁田町民すべての人が健康で豊かな生活を送ることを目指し、積極的な健康づくりをはかるために住民と共に取り組みを開始しました。

平成15年度より取り組んできた「8020」基盤整備事業では「8020」を達成するために、今後町で目指すべき方向性を検討し、8020専門委員会を設置し、「すべての住民に最も効果的なフッ化物応用法は水道水フッ化物濃度調整法（フロリデーション）である」と提言を受けました。また「住民の歯への思い」を知るために、話し合いを重視した学習会の開催など住民と共に目指すべき方向を探ってきました。

平成16年度は先進地視察、フロリデーション水飲用体験を通じた住民学習会、日本口腔衛生学会の学術支援を得てフロリデーションパンフレット作成、高齢者の歯の実態と思いを知るための学習会を開催しました。

平成17年度は厚生労働省の技術支援を得て、保健センターにフッ化物濃度調整モデル装置を設置しました。このモデル装置を活用して住民の理解と安心感を向上させるために飲用体験、料理実習等体験を通じた住民学習会の開催を重点に、健康づくり推進協議会、保健推進員、食生活改善推進員、健康しもにた21推進ネットワーク、地区組織活動参加者等学習を積み重ねてきた「住民による住民啓発活動」など平成15年度の活動を基盤に、年々きめ細かなフロリデーション啓発活動に発展してきました。

平成18年度は下仁田町フロリデーション推進会議により18年3月議会に「フロリデーションの普及をめざした啓発活動の推進に関する陳情書」が提出され趣旨採択されたことにより啓発活動を展開しました。

主な啓発活動としては、フロリデーション推進会議より議会議長と町長に提出した「議会議員と町職員に対する説明会開催の要望書」に対する了解が得られ、今回始めて実施する運びとなりました。

議会議員に対する説明会には、福岡歯科大学名誉教授 境 脩氏、町職員に対する説明会には、日本大学松戸歯学部 小林 清吾教授が講演しました。

また保健推進員会議においては、富岡保健福祉事務所医監による講演と日本大学松戸歯学部小林教授による講演を実施しました。

19年3月には、女性団体連絡協議会（連合婦人会、商工会女性部、母親クラブ連合会、更生保護女性会）の「母乳推進及び健康づくり講演会」において新潟大学医歯学総合病院の口腔保健科 佐久間汐子講師による講演を行いました。

また、保健センターの2階にある栄養学習室では、4月から3月の年間を通して、利用者に事前にフロリデーション水の説明をしてから、了解をいただきフロリデーション水を利用した料理実習も行いました。

②平成15年度～17年度迄のフロリデーション啓発取り組みの経過
健康しもにた21「8020」を推進するために専門機関による学術支援を得て多様な地区組織との連携による啓発活動を実施しました。

年度	内 容
14	健康しもにた21策定「8020」の推進
15	<p>8020 基盤整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生としてのフッ化物応用について口腔衛生学会へ学術支援要請 ・8020 専門委員会を設置 委員会より「フロリデーション」の提言を受ける ・住民の歯への思いを知るための話し合いを重視した学習会を開催 ・フォーカスグループインタビューの実施 歯の大切さは悪くならないとわからない、 自分の歯は失ってしまったが子供や孫の歯は守ってあげたい フロリデーションが良いとわかって不安 ・フロリデーションパンフレットの検討 ・フロリデーションアンケートの実施 フッ素はむし歯予防に効果があることを知っている フッ素濃度の理解が不十分であることがわかる ・先進地視察：日本大学松戸歯学部視察 ・群馬県歯科保健賞受賞記念シンポジウム開催
16	<p>8020 住民学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の歯への思いを知るための学習会の開催 ・フロリデーション水飲用体験を通じた住民学習会の開催 ・フロリデーションアンケートの実施 フッ素はむし歯予防に効果があることを知っている フッ素濃度の理解が不十分であることがわかる ・町制施行50周年記念式典にフロリデーション水を提供 ・フロリデーションパンフレットの作成 ・フロリデーションを理解しやすくするため、モデル装置について検討 ・モデル装置制作について厚生労働省へ技術支援要請 ・日本大学松戸歯学部のフロリデーション装置をモデルにして新しい装置を制作 ・先進地視察：日本大学松戸歯学部視察
17	<p>8020 住民学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省の技術支援を得てフロリデーションモデル装置が完成 ・住民の理解と安心感を向上させるために飲用体験、料理実習等体験を通じた学習会の開催 ・フロリデーションモデル装置稼働、F濃度調整のための職員等学習会 ・フロリデーション水飲用アンケート調査

- ・効果的な啓発のためのフロリデーションワークショップの開催
- ・職員、歯科衛生士による定期的なフロリデーション水調整作業
- ・町の歯科医院、薬局等においてフロリデーションの啓発
- ・広報、パンフレットの各戸配布、地元新聞等による啓発

③平成18年度8020基盤整備事業の概要 (内容一覧)

実施日	事業内容	スタッフ	人数
4/17	保健推進員総会 記念講演会 健康しもにた 21「みんなですすめる生活習慣病予防」 下仁田町のむし歯予防対策	富岡保健福祉事務所： 服部知己医監講演 職員	70
4月～ 3月	定期的な保健事業及び地区組織活動参加者へのフロリデーション啓発 乳児健診(6回) 幼児健診(3歳児含)(6回) わんぱくクラブ(12回) 定期健康相談(12回) 70歳健康教室(6回) 地区組織活動参加者	歯科衛生士 町保健師・栄養士等	51 215 45 156 54 518
6/20～ 29	保健推進員学習会 健康しもにた7カ条 「いつまでも自分の歯、「8020」を目指しましょう」	町保健師等	77
7/20	議員説明会 「地域歯科保健と水道水フロリデーション(水道水フッ化物濃度調整)」	福岡歯科大学名誉教授 境 脩・歯科医師会(鈴木・横山・市川・萩原)職員	14
8/17 ～28	保健推進員学習会 フロリデーションの「よくある質問」	町保健師等	73
8/30	町職員説明会 「フロリデーションによる歯科保健」	日本大学松戸歯学部教授：小林清吾：同助手 田口千恵子・歯科医師会(鈴木・市川・萩原・横山)阿部・歯科衛生士・職員	34
10/17	保健推進員勉強会 「水道水のフッ素でむし歯予防」	日本大学松戸歯学部教授：小林清吾：同助手 田口千恵子・日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会委員長：磯崎篤則・歯科医師・職員	62
11/5	健康しもにた21表彰式 3歳児むし歯0(ゼロ)表彰、中学3年生のむし歯0(ゼロ)表彰、成人、70歳のよい歯の表彰	歯科医師会(市川)職員	81
11/10	みどり市母子保健推進員交流会 下仁田町の歯科保健事業について	保健師等	25

2/28 ～ 3/1	フッ素洗口説明会 保育園の年中、年長園児のフッ素洗口 新小学1年生の家庭でのフッ素洗口について	歯科医師・薬剤師・歯 科衛生士・職員	58
3/1	女性団体連絡協議会 歯科保健講演会 「子どもから高齢者までの歯科保健」 下仁田町母乳推進会議	新潟大学医歯学総合病 院佐久間汐子講師・歯 科医師会（市川）歯科 衛生士・職員	100
その他	・歯科医院・薬局等による啓発 ・他県・市町村等からの視察対応 ・フロリデーションモデル装置を使った 普及啓発	歯科医師・薬剤師 職員	

5.事業の内容 6.実施後の評価

(1) 保健推進員学習会(4月17日)

○保健推進員総会に富岡保健福祉事務所 服部知己医監の記念講演を実施しました。保健推進員109名中70人の参加がありました。

健康しもにた 21「みんなですすめる生活習慣病予防」下仁田町のむし歯予防対策についての講演をいただきました。

平成17年度の保健事業の実績説明と18年度の計画について保健推進員に協力依頼を行いました。

評 価

◎保健推進員の総会にて、委員の半数が交代になる中、下仁田町のむし歯予防の取り組みについて、地元の保健福祉事務所の医監から講演は、新しく推進員になられた方にとって取組の重要度や必要性についての意識が高まってきます。

○保健推進員の地区別学習会 (6月20日～29日の内4日間)

保健推進員109名中76人の参加がありました。

健康しもにた 7カ条「いつまでも自分の歯、「8020」を目指しましょう」と効果的なフッ化物の利用によるむし歯予防について説明を行いました。フロリデーションモデル装置を利用した、フロリデーション水を推進員に試飲していただき、正確な情報を理解していただいた。

評 価

◎小中学校の児童、生徒に対してフッ素洗口剤の配布を推進員に依頼しているが、中学生になると親の言うことを聞かなくなり洗口についても“たまにしているよ”と少なくなってしまう。推進員に洗口の継続の必要性について理解していただき、配布する該当家族に対しても積極的に実施するように依頼しました。

○保健推進員の地区別学習会 (8月17日～28日の内4日間)

フロリデーションについての「よくある質問」

保健推進員109名中72人の参加がありました。

今回の保健推進員会議では、前年度の推進員が作ったフロリデーションのパネルを使い推進員がほかの推進員に説明するという形の学習会を行いました。

フロリデーションファクト（冊子）を推進員に配り有効性や安全性について勉強を行いました。

フロリデーション水を家族で試飲できるように、水の入ったボトルを持ち帰ってもらいました。

評 価

◎人に説明すると言うことは、フロリデーションについて、より深い理解がなくてはならないので、推進員はファクトを読んで、自分の物にしようと勉強を一生懸命しました。

その中から各種フッ化物応用の中で有効性、安全性、経済性等に関して公衆衛生的に優れた方法であることが、分かってきました。

○保健推進員への講演会（10月17日）

保健推進員の地区別会議で出された、フロリデーションについての質問についての回答も含め、日本大学松戸歯学部 小林 清吾教授の講演会「水道水のフッ素でむし歯予防」を実施しました。

保健推進員109名中63人の参加がありました。

日本口腔衛生学会 フッ化物応用委員会委員長 磯崎篤則氏も当町の取組を視察に訪れました。

評 価

◎保健推進員に対してフロリデーションについての質問の中から、特に反対論の特徴としては、多量、過剰に取りすぎた場合の害あることを問題にして「適量無し」と安全性の確かめ方を飛躍し、短絡していることで、「ちょうどいい量」を否定してしまっていると、小林教授から反対論の主な説明を受けました。

○保健推進員視察研修・交流会（11月10日実施）

群馬県みどり市笠懸保健センター 保健推進員25名が参加しました。

当町の保健推進員とみどり市母子保健推進員との交流会の中で、当町の歯科保健事業の説明を行いました。

評 価

◎「フロリデーション水でむし歯予防」という言葉は、視察先の推進員は聞いたことのない物だったので、感心をしていました。

持参したフロリデーション水ボトルから試飲を行いました。これでむし歯が予防できるのならこんな楽なことはないと話がありました。

○保健推進員の地区別学習会（1月15日～22日の4日間）

保健推進員109名中61名の参加がありました。

保健推進員がフロリデーション水を実際に使った料理実習を行いました。

普段飲んでいる水と変わらないものであり、今まで勉強してきたものなので、

抵抗なく料理に使用していました。

また、推進員として1年間を振り返っての感想を述べてもらいました。

評 価

◎推進員になってから始めてフロリデーションという言葉を知ったり、勉強もしたと言う意見がありました。住民向けにリーフレットや、広報等で、紹介しているが、実際には読んでいないし（読んでいる時間もない）、目も通していない、そういう人が多数いることが分かりました。

今後もねばり強い、住民周知の継続が必要であると思うのと、フロリデーションというカタカナが、多くの人には始めてで“なじみがなく”説明を難しくしていると思われました。

フッ素がむし歯予防に効果があることが、若年には理解されているが、まだまだ高齢層には、分かってもらえてません。有名女子ゴルファーによるフッ素入りのガム等のCMでむし歯予防効果と放送していますが、テレビ等で放送の継続は、多くに無意識的に周知すると思われるので、フッ素塗布、フッ素洗口、フロリデーションなどフッ化物応用の言葉もマスメディアの放送とともに“なじんでくる”と思いました。

(2) 下仁田町議会議員に対する説明会 (7月20日実施)

○下仁田町フロリデーション推進会議より「町議会に対する説明会開催の要望書」が議会議長に提出され、承認されたことにより議員に対する説明会が実施されました。

これは平成18年3月議会において「フロリデーションの普及をめざした啓発活動の推進に関する陳情書」が趣旨採択されたことをうけ、町民の代表である議員の皆様にご理解をいただくために設けられたものです。

NPO法人日本むし歯予防フッ素推進協議会会長、福岡歯科大学 名誉教授 境 脩 氏を講師として実施しました。

町議会議員16名中14名の出席(2名入院中)がありました。

評 価

◎議員からの意見としては、フッ化物が歯に効果のあること分かったが、歯科医師会の内部の中にも問題があることと、学校の保健、議員の中にも反対があり、首長がほかの政治の問題（今抱えている市町村合併、産業廃棄物処分場反対運動と同じテーブル）にしたくないので、その辺で落ちこぼれのないようにしてくれという事でした。

また議会は、専門の機関ではない、医学的な認識がない、うわべだけの学習では、説得力がないので、心から勉強してきた人でないと、という声もありました。

講師は同業者の反対については、どこの社会でも体制への批判はあり、そういう場合は地域の歯科医師会の活動を見てもらいたい。議会は専門の機関でないという声に対しては、実施についての最終的なところは町議会が決めていく問題になりますと答えていました。

これからは、まずは住民説明会で理解してもらおう事と、内科医や整形外科医等の医療分野の方と話し合いがもて、説明会が実施できれば住民への説得力が出てくると言う意見もありました。

(3) 下仁田町職員に対する説明会 (8月30日実施)

○下仁田町フロリデーショーン推進会議より「町職員に対する説明会開催の要望書」が町長に提出され、承認されたことにより職員に対する説明会が実施になりました。

これは、前述した町議会議員に対する説明会と同様に町職員に正確な情報を理解いただくため開催されたものです。

日本大学松戸歯学部 小林 清吾教授を講師として実施しました。

町職員 140人中 33人 参加がありました。

職員にフロリデーショーンの学習会を開いたが、平日午後の勤務時間内と言うことで24%程度の出席しか得られなかった。

評 価

◎職員からの質問でも、“発がん性”との関係や、人工透析との関係の質問がありました。

講師は、米国がん学会は、がんの発生とフロリデーショーンとの関連を示す科学的根拠はないと述べていることの報告と、人工透析は今は町の水道水は使用せず専用の透析液を使用していますと説明がされた。

水道課からの質問については、同課の参加者が少なかった為ありませんでした。

(4) フロリデーショーン水を使用した料理実習・料理提供

○町内にある施設「ふれあい学習センター栄養学習室」を利用した料理実習、料理提供を実施する際には、利用者に事前にフロリデーショーン水の説明をしてから、了解をいただきフロリデーショーン水を利用して実習を行いました。

具体的な利用は、下記のとおりであります。

- ①フロリデーショーン水を飲む
- ②お茶、麦茶を入れる
- ③ご飯を炊く
- ④離乳食をつくる
- ⑤おやつをつくる
- ⑥幼児から高齢者までのそれぞれの年代別の昼食をつくる
- ⑦糖尿病食をつくる

以上48回、1162名、年代は乳児、幼児、学童、成人男女（糖尿病患者を含む）に普及しました。

評 価

◎フロリデーショーン水を利用して試食を摂った感想は次のとおりである。

①お茶、ご飯は素材そのものの甘みを感じるようでおいしい。

②料理は特に味に変化はなくおいしく試食できた。

今後も継続して料理実習、料理提供にはフロリデーショーン水を普及していきたいと考える。また、今後の課題として実習、試食後にはアンケートを実施して利用者の感想を具体的に把握していきたいと予定しています。

((4)-1は別紙事業一覧あり)

(5) 健康しもにた21表彰式 (11月5日実施)

下仁田町健康祭が2年に1度の隔年になり本年度は健康祭の中の表彰部門だけになりました。

○3歳児むし歯ゼロ表彰・・・3歳児健診においてむし歯ゼロの子ども、歯科健診受診者48人中39人(81.3%)が表彰されました。

○中学3年生むし歯ゼロ表彰・・・中学3年生の学校歯科健診において、むし歯のなかった者、全生徒78人中38人が表彰（48.7％）がされました。

評 価

◎当町が取り組みしてきた、幼児健診からのフッ素塗布、家族の協力による歯磨き指導の成果がでています。

また、小中学生での家庭でのフッ素洗口の成果も中3年生の表彰の数に表れています。

厚生労働省が平成19年1月にまとめた、「平成17年歯科疾患実態調査結果」では、対象年齢が異なるが、10歳から14歳の208人のうち、むし歯のない者88人（42.3％）という数値で当町の中学3年生は全国平均値よりむし歯が少ない事を表しています。

(6) フッ素洗口説明会（2月28日午後1時半、3月1日午後7時2回実施）

4月から保育園での年中、年長になる子の保護者に対しての集団フッ素洗口と、新小学校1年生になる子の保護者に対して家庭でのフッ素洗口についての説明会を実施しました。

保育園児の保護者33人、新1年生の保護者25人の出席がありました。内容としては、

○歯科医師会医師によるフッ素洗口の基礎知識について

○薬剤師会によるフッ素洗口剤（オラブリス）の取扱いについて

○口腔保健センター歯科衛生士によるフッ素洗口の実演

の3つの専門分野から説明を行いました。

参加者にフロリデーション水のボトルを試飲用に持ち帰ってもらいました。

評 価

◎当町の保育園児から小中学生へのフッ素を使用したむし歯予防について理解が得られました。また、フッ化物利用の有効性、安全性、実用性において優れた公衆衛生的な予防法であるフロリデーションについての説明を歯科医師が行いました。保護者は関心を持って聞いていました。

(7) 母乳推進及び健康づくり講演会について（3月1日 午後6時30分～）

みんなで進める健康づくり「子どもから高齢者迄の歯科保健について」

新潟大学 医歯学総合病院 口腔保健科 佐久間汐子講師を招いて当町の女性団体を対象に講演会を実施しました。

連合婦人会、商工会女性部、母親クラブ連合会、更生保護女性会の団体に保健推進員、食生活改善推進員、生命の貯蓄体操下仁田分会等の関係者の約100人が講演を聞きました。

講演の終了後に質問を伺ったが、数多い団体から参加者が来ていますと、フロリデーションに反対の意見もだされ、飲みたくない人はどうするのかと選択の自由についての質問が出されました。

評 価

◎講師は選択の自由と言うより、公衆衛生とは”選択のできない人を救うのが公衆衛生の役割、大事なところ”ですと説明していました。

会議の途中、歯科衛生士により紙コップが配られフロリデーション水の試飲が行われました。

飲まれた方からは、普通の水道水と“変わらない”との声が出ていました。

(4-1 別紙事業一覧)

5. 事業の内容 6. 実施後の評価

(4)フロリデーション水を使用した料理実習・料理提供

1)フロリデーション水を使用した料理実習等一覧表

<18年度>

実施日	事業内容	実施回数	スタッフ	人数
4/4~2/6	ふれあい食育講座	12	町栄養士	307
5/10・17・6/9	食生活改善推進員研修(3回)	3	町栄養士	53
6/14~11/22	ミニディサービス食事提供(10回)	10	町栄養士・食生活改善推進員	247
6/12	老人クラブ調理研修	1	町栄養士	16
5/25~1/25	お母さんと一緒に学ぶ食べ物講座食事提供(3回)	3	町栄養士・保健師・食生活改善推進員	92
8/9~8/19	親と子の食育教室(4回)	4	町栄養士・食生活改善推進員	99
5/23・10/24	リハビリ食事提供(2回)	2	町栄養士・保健師・食生活改善推進員	77
9/1・6・8	食生活改善推進員研修(3回)	3	町栄養士	49
6/29・12/14	糖尿病友の会 調理研修(2回)	2	町栄養士・保健師	53
8/2	男性の料理教室	1	町栄養士・食生活改善推進員	19
12/7	ヘルスサポーター21養成講座	1	町栄養士・食生活改善推進員	28
12/11	食生活改善推進員研修(1回)	1	町栄養士	30
1/15~1/22	保健推進員調理研修(4回)	4	町栄養士・保健師	82
2/7	食生活改善推進員研修(1回)	1	町栄養士	10
計		48		1,162

7.今後の課題

富岡甘楽歯科医師会、歯科衛生士会、町内の医師、歯科医師、薬剤師の先生方、富岡保健福祉事務所の支援の元に 日本口腔衛生学会の学術支援、厚生労働省の技術支援を得て保健センター内にフロリデーションモデル装置が17年度に完成いたしました。これはフロリデーションを理解する上で効果的、かつ画期的な道具になると考えます。

平均寿命の延長に伴って、長い人生を送る中で自分の歯で食事が食べられるということは、生活の質、生きる上での楽しみです。年を重ねれば重ねるほど、自分の歯が貴重な財産であることが分かります。むし歯にならないように歯を大切にすることが、歯を長持ちさせることにつながるとも言われます。

今後の「健康しもにた21」歯の健康づくりの目指すべき方向は、住民皆様の「歯への思い」を大切に、専門委員会から頂いた提言「フロリデーションの推進」をもとに、フロリデーションモデル装置を活用して、体験を通じた理解と住民の安心感を向上させ、住民自らが保健行動を選択するための支援をしていきたいと考えています。町議会もフロリデーションについては、普及啓発をすることまでは承認を得ていますので、当面は住民を対象にさらに普及啓発に力を入れていくことです。内科医、整形外科医等の医療分野の方と話し合いが持てそれが、説明会に使えば説得力が増すと思えます。

助成いただきました、財団法人8020推進財団をはじめ、熱心にご指導頂きました先生方及び熱心に学習していただいた住民の皆様へ厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

以上、平成18年度歯科保健活動助成事業の「8020基盤整備事業」について事業報告書といたします。

事業経費

事業経費 617,182円の中に助成金 500,000円を充当しました。

項目	事業内容	支出内訳		
報償費	◎健康しもにた21計画推進講演会・学習会 講師謝金 7/20議員説明会、8/30町職員説明会、10/17保健推進員勉強会、3/1女性団体連絡協議会講演会	教授	20,000 ×	4人 = 80,000 円
	8/30町職員説明会、10/17保健推進員勉強会 (4/17保健推進員総会の富岡保健福祉事務所医監の講演は謝金支払なし)	助手	10,000 ×	2人 = 20,000 円
交通費	謝金 3/1女性団体連絡協議会歯科医師会プロジェクター操作	歯科衛生士	6,000 ×	1人 = 6,000 円
	交通費 7/20議員説明会 講師交通費	福岡市	55,160 ×	1人 = 55,160 円
	8/30町職員説明会、10/17推進員勉強会講師助手交通費	千葉県松戸市	11,360 ×	4人 = 45,440 円
	3/1女性団体連絡協議会 講師交通費	新潟市	18,540 ×	1人 = 18,540 円
報償費	◎講演会・学習会打合せ 歯科医師等謝金 7/20議員説明会 打合せ 8/30町職員説明会 打合せ	歯科医師	3,000 ×	4人 = 12,000 円
		歯科医師	3,000 ×	4人 = 12,000 円
		歯科衛生士	3,000 ×	1人 = 3,000 円
報償費	◎健康づくり推進協議会 委員謝金 10/27健康づくり推進協議会 謝金	委員	3,000 ×	6人 = 18,000 円
交通費	◎フロリデーション住民普及啓発資料作成 交通費 2/9住民普及啓発資料作成 交通費	千葉県松戸市	11,360 ×	1人 = 11,360 円
報償費	◎フッ素洗口説明会 講師謝金 2/28、3/1フッ素洗口説明会講師謝金	歯科医師	14,000 ×	2人 = 28,000 円
		薬剤師	10,000 ×	2人 = 20,000 円
		歯科衛生士	6,000 ×	2人 = 12,000 円
需用費	フロリデーションモデル装置関係 フック物濃度測定水質計水温計用電池・モデル装置タンク内清掃用布巾 3,510 円			
	フロリデーション水ボトル配布用ビニール袋 6.82 × 2000 枚 =			13,640 円
	フロリデーション推進会議メンバー事業所の簡易版ウォータークーラーへフロリ水ボトル配布かご購入・フロリデーション水試飲用紙コップ購入 10,579 円			
	保健推進員学習会用教育冊子 フロリデーションファクト購入 1,000 × 50 冊 =			50,000 円
	保健推進員学習会用ノート、ファイル、ペン 287 × 109 冊 =			31,283 円
	学習会・講演会講師等 弁当代 650 × 9 個 =			5,850 円
	講演会、学習会資料印刷代等 PPC用紙 A4版 63 枚 =			24,480 円
	PPC用紙 A3版 12 枚 =			10,100 円
	プリンタートナー 11,000 × 2 個 =			22,000 円
	リノグラフマスター 6,615 × 2 個 =			13,230 円
	リノグラフ・インキ 3,150 × 6 個 =			18,900 円
	インクジェットタンク 1,000 × 12 個 =			12,000 円
	会議開催用封筒 長3 6.825 × 3000 枚 =			20,475 円
	健康しもにた21表彰式 表彰者記念品(歯ブラシ等) 152.65 × 240 本 =			36,635 円
	卓上花 1 式			3,000 円
	支払合計			617,182 円